

# スニエニ中

シネスコ版

高新=2-ス No 391

新接第=2-ス No 219

No. 556

39. 9. 11

## 一、五輪聖火本土に到着

オリンピック東京大会を飾る「聖火」は、アテネを出発して以来十八日目、九月七日正午、日本最初のリレー地沖繩に到着しました。

しかし、香港での台風の被害を受け、沖繩での日程はまる一日延着。あげくの果ては島内聖火リレーの途中で分火という措置がとられました。

沖繩住民の間に期待を裏切られたという失望感がわいたことはいなめませんが、思わぬ出来事にもかかわらず「沖繩は聖火リレーの起点だ」という意識を持ち、真心をこめて聖火を迎えました。九日朝沖繩をYS11で空輸された聖火は、日程をとりもどし無事、鹿児島に到着。いよいよ国内聖火リレー・コースをひた走り、五輪東京大会の国立競技場をめざしています。

## アイモ風土記

### 一、直島

— 香川

香川県高松市の北方十三キロの海上に大小二十七の島々からなる群島があり、ここは昔から漁業の島、海運の島として栄えて来ました。

昨今どこの島でも見られるように近海漁業のスイタイ、など貧しい島が多いのです。

だがこの直島は大正六年に大企業を誘致し、銅の製錬所を建設しました。

今では島民七千三百人の内八割までがこの製錬所にかよっています。

おかげで道路も完備され、住宅群も出来、なに不自由ない生活をおくっています。

町役場でも年間製錬所から落ちるお金二千五百万円をもとに観光開発をしようという計画。そして世界一の観光用養魚場を作り出そうというのです。

またこの島唯一の無形文化財である女文楽。しかし文楽を守っている人たちは平均年令七十才。これではと町役場では若い高校生に受け継がせようと日夜練習に明け暮れています。

こうして直島は瀬戸内海の表玄関として、また関西の奥座敷として観光に産業に発展しようとしています。

323F

305F

628F

製配

作給

中 部 日 本 新 聞  
北 陸 中 日 新 聞

東 京 中 日 新 聞  
中 日 映 画 社  
中 部 日 本 新 聞 映 画 社